

令和7年度 第1回障害者支援施設かたかご苑地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和8年3月25日（水）13時30分～15時
開催場所	障害者支援施設かたかご苑 会議室
出席者 （計9名）	地域の関係者 1名（連合自治会長） 市町村担当者 1名（高岡市障害福祉課担当職員） 利用者代表 2名 利用者家族代表 1名 施設職員 4名（施設長、管理者、サービス管理責任者）
欠席者 （計1名）	地域の関係者 1名（地区民生委員会会長） ※他の会議と重なったため
協議内容	1 施設長挨拶 2 構成員の紹介 自己紹介 3 議題内容、説明 ○地域連携推進会議について ・利用者さんと地域との関係づくり、施設等やサービスの透明性・質の確保、地域の方への施設等や利用者さんに関する理解の促進、利用者さんの権利擁護を目的とする。 ・構成員の方との情報共有・意見交換、施設訪問による職員と利用者の方との関係性づくり並びに地域の開かれた施設としての位置づけ、事業所の環境や運営の確認を内容とする。 ・利用者の方にとっては質の高い支援を受けられる効果、地域と連携を深めることで事業所にとっても地域で運営しやすくなる効果が期待できる。 ○入所者の全体概要 ・平均年齢 49.7 歳 最高齢 78 歳 最年少 26 歳 ・平均在所年数 20 年 10 か月 最長在所年数 32 年 11 か月 ・障害種別の割合 知的障害 39 名 身体障害 9 名（重複） ・通院者割合 38 名（39 名中） 医療的ケア 0 名 50 歳以上 64% ・刻み・ミキサー食等配慮食 15 名 ・車椅子使用者 3 名 ・行動障害の割合 38 名（39 名中） 刺激を軽減するなど環境面への配慮、個別支援が必要 ・関係機関との連携は、介護保険施設・行政・グループホーム ・課題とリスクは、利用者の高齢化・重度化、支援者の人員体制、円滑な地域移行及び受け入れ体制の整備 ・今後の方向性は、地域移行、地域連携強化、地域共生

連合自治会長	○入所者の日課 ・ 作業（生産活動）、運動、余暇活動、入浴を行っている ・ 活動参加することで規則正しい生活確立する。 ・ 余暇活動など生活の場面で選択機会を設け、選ぶ力を養うよう支援している。 ○職員研修について 当施設で提供されるサービスの質は、利用者の生活の質に直結する重要な要素であるとの考えのもと、職員一人ひとりの専門性と倫理観の向上を目的として、計画的かつ継続的に職員研修を実施している。 ○緊急時対応について ・ 自然災害発生時、感染症発生時に対応したBCP（事業継続計画）を策定している。火災発生時も含め、定期的な訓練や見直しを行っている。 ・ 感染症に対しては、日々の健康管理や定期的な消毒を行い発生の予防に努めている。発生が確認された際には迅速なゾーニング等で拡大させないことを優先して初動にあたっている。 4 意見交換 ・ 発泡スチロールのリサイクル作業については、材料確保の面で地域からも協力を得られるのではないかと。また、空き缶リサイクル作業のための回収協力を現在も行っている。回収ボックスの管理には各自治会が手間をかけているが、かたかご苑への協力は、利用者工賃に寄与するものと考えている。 ・ 利用者が、無断で敷地外に出てしまい所在不明となったときに、カメラ等で確認はできるのか？また、検索に必要な顔写真や特徴などの情報は準備できているのか？必要であれば、ICタグなど行動を追跡できる機器を導入することも必要ではないか。 ⇒現在、施設の周辺はフェンスが張られていて簡単には敷地外には出られない。しかしながら、敷地の外に出ることは可能ではあるので、カメラが設置されていて、どの方向に出ていったのか分かる仕組みにはなっているので検索には有効である。また、個人の特徴を記したカードは作成してある。 ・ 夜間の勤務職員は何人か。 ⇒3名。すぐに駆け付けられる職員も数名が居り、必要に応じて参集する。 ・ 地域との連携強化として、近隣自治会向けに防災教室を開催している施設もある。かたかご苑でも、研修会や教室を実施し、施設を知ってもらう機会としたらよい。 5 事業所視察
---------------	--